

あすなる

いわき養護学校同窓生の会 会報

平成28年度総会・懇親会

平成二十八年六月二十日、いわきワシントンホテル椿山荘において、同窓生の会総会・懇親会を開催しました。同窓生・保護者の皆様、職員総勢六十九名の方々が出席されました。

まず、総会では、前年度の会務や決算報告、本年度の計画や予算、役員改選などが滞りなく話し合われました。

次の宴会では、懐かしい友達と思い出話に花を咲かせ、恒例のビンゴゲームやカラオケで盛り上がり、最後は「世界に一つだけの花」を全員で歌ってお開きとなりました。

来年度も多くの会員が集まって楽しい時間を過ごし、生活の励みになるようにしていきたいです。

☆ 新役員紹介 (敬称略)

- 会長 細矢 明広
- 副会長 松本 昌子
- 事務局長 坂下 雅子
- 事務局員 齋藤 邦子
- 万崎 洋子
- 稲葉 圭子
- 佐藤 玲子
- 会計監査 高橋 綾子

《事務局》

〒970-8028

福島県立いわき養護学校 高等部内
いわき市平上神谷字石ノ町13-1
電話 0246-34-3806

平成27年度 高等部同窓生の会決算報告書

歳入総額 834,271円
 歳出総額 33,934円
 差引残高 800,337円

1 歳入の部 834,271円

項目	本年度予算額	決算額	差引残高	付記
会費	112,000	112,000	0	3,500円×32名
繰越金	708,907	708,907	0	
雑収入	30,200	13,364	-16,836	利子、行事会費残金
合計	851,107	834,271	-16,836	

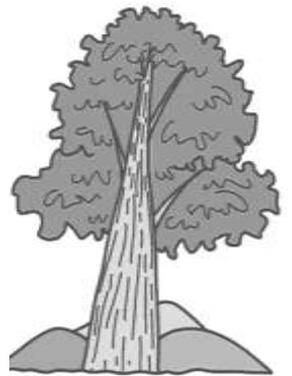
2 歳出の部 33,934円

項目	本年度予算額	決算額	差引増減	付記
事務費	60,000	26,260	-33,740	はがき、切手、封筒、
広報費	15,000	7,674	-7,326	プリンタインク、用紙
行事費	20,000	0	-20,000	祝賀会補助
予備費	756,107	0	-756,107	
合計	851,107	33,934	-817,173	

3 差引残高 800,337円 →次年度へ繰り越します

上記の通り報告いたします

平成28年3月31日 同窓生の会事務局 高倉雅尚 須賀英樹 勝倉美弥子 酒井 昌和 鈴木聡子 北澤美和



〈平成二十九年度の予定〉

◇総会・懇親会

六月中旬～下旬(土)

十二時～

いわきワシントンホテル

椿山荘

*早めに予定を組んで、ぜひ参加してください。

*二十二年度より、三年続けて出欠の返事がない場合は、案内のはがきを送らないことになりました。はがきが届かなくても参加を希望される方は、電話で学校に申し込んでください。

◇いわき養護学校行事

五月二十五日(金)

中学部スポーツ

エスティバル

六月二日(金)

小学部運動会

十月二十八日(土)

風と雲のまつり

六月五日～十六日

前期現場実習

十一月六日～十七日

後期現場実習

第二十二期生成人祝賀



平成二十九年一月十四日、いわきワシントンホテル椿山荘において、高等部二十二期生（平成二十六年年度卒）の成人祝賀会を開催しました。新成人二十三名と保護者の皆様や在学中の担任の先生方など総勢七十三名の出席で盛大な会になりました。



お祝いの言葉

福島県立いわき養護学校

校長 齋藤 秀美

今年、成人を迎えられた第二十二期卒業生の皆様、本当におめでとうございませす。心よりお祝い申し上げます。

これまでご本人を支えてこられましたご両親並びにご家族の方におかれましても、これまでの幾多の壁を共に乗り越え、今日の日を迎えられたこととお察し申し上げます。

さて、皆さんが生まれた二十年前は、どのような時代だったか覚えていらっしゃるでしょうか。インターネットで検索してみると、当時の流行語はその年に行われたアトラントオリンピックの女子マラソン銅メダルの有森裕子さんの「自分で自分をほめたい」とか多くの人が夢中になった「たまごっち」等々の流行語が聞かれた年で比較的平穏な時代が思い出されま

その後、福島県は未曾有の東日本大震災にあり、以後は復興への道に社会は切り変わってしまいました。一方、先の時代に明るい材料も出てきました。二〇二〇年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることです。もう一度、夢・感動・希望の持てる心生き生きとした時代になってくれることを願ってやみませす。

終わりに、どのような時代にあっても、温かい支えや思いやり、そして感謝の心は、人と人をつなぎ、社会生活を営む上での大きな支えとなります。これから家族や地域の方々はじめ、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、大人としての一歩を踏み出していただきたいと思います。皆様の輝かしい前途を祝し、応援の言葉といたします。

新成人代表あいさつ 大津 優一



今日は、私たちのために、このような会を開いていただき、ありがとうございます。

まだ、二十歳になった実感はあまりないのですが、成人式をむかえたので、自分ひとりでもいろんなことができるような大人になりたいです。

ぼくは、いわき養護学校の高等部を卒業後、将来、ひとりで自立して生活するために、平塚にある「はまゆう通勤寮」に入りました。朝は五時半に起きて掃除、六時にご飯を食べ、六時半に寮を出発して仕

事へ行きます。帰ってからは、自分の身の回りのことを自分でできるように、洗濯の仕方や洋服のたたみ方、お金の使い方などを職員の方に教えてもらっています。

毎月お給料の中から貯金もして、そのお金を使い、今日のために自分でスーツ一式をそろえました。

仕事は、勿来にある、さんしゃいんクレハで働いています。各部署から集めた古紙をリサイクルしてノートや名刺を作ったり、パソコンのデータ入力をしていたりしています。はじめてお給料をもらった時のことは今でもおぼえています。振り込みを見てびっくりしました。信じられないような、言葉にならない気持ちでしたが、もったいなくて使えませんでした。自分ではたらいってお金をもらうのは、やり切った感じがして、とてもうれしいです。

会社では、仕事のこと以外でも、いろんなことを教わっています。会社の上司の方がいつも話してくれることは、「いろんな人と話してコミュニケーションを取ろう」ということです。コミュニケーションを取り合えば、お互いのことが分かるし、いろんな人とかかわれば、困ったときは助け合えるし、どんなことでもできるようになるからだと思います。僕は、高等部の頃は自分から話しかけるタイプではありませんが、今は自分から話しかける人になり、話しかけるようになります。兄や姉ともたくさん話すようになります。自分の世界が広がったような気がします。

また、ものごとに対して積極的に取り組むようになり、会社でアビリンピックの公募があったときには、みずから手をあげて参加し、貴重な経験を得ることができました。自分が少しずつ変わってきたのは、まわりの人たちがいつも僕を応援してくれてからだと思えます。ぼくにいろいろのことを教えてくれた先生方や寮の職員のみなさん、会社の人、そして家族に対して、感謝の気持ちでいっぱい

です。ささほど、二十歳になった実感はあまりないと言いましたが、周囲の人に感謝できるようなことになりました。昔よりも大人になったというところもありません。私たちは、周囲の人のたくさん思いやりに支えられて、無事成人の日を迎えられたと思います。これからも、そのことに感謝しながら、ひとりひとりが、自分のできることを精一杯頑張って生活していきたいと思えます。